

事業概要	「地域と畑は自分たちで守る」をモットーに熊本県内の若手農家130人で獣害対策を行っている。国連の公式サイトにてSDGsの優良事例として「地域コミュニティと生物多様性を守る農家の活動」と紹介されている。	
部署	代表 宮川将人	
所在地	〒869-3203 熊本県宇城市三角町戸馳397	
連絡先	(電話番号)0964-53-0752 (E-mail) kumamotohunter@gmail.com	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	地域住民が主体となってSDGs11住み続けられるまちづくりのゴールを目指してローカルアクションしていくのが当たり前になる社会。 企業等がローカルアクションを行う地域に対してサポートするwinwinな仕組み作り	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	観光ビジネス／農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー／防災
	観光ビジネス： ジビエツーリズムと題した獣害対策の現場に来てSDGsを学ぶアクティビティや宿泊プランを2020年から提供。田舎固有の資源を使った観光ビジネスに。 <a href="https://item.rakuten.co.jp/hunter/c/0000000172/">https://item.rakuten.co.jp/hunter/c/0000000172/</a>	
	農林水産業・地場産品： 捕獲したイノシシをジビエを地域資源として販売しサステナブルな活動を実践している。ジビエ加工施設を建設し、ネットショップでの販売、SNSでのファン作りなどを強みに持つ。農産物の販売も年々伸びている。 <a href="https://hunter.farmer-hunter.com/merumaga">https://hunter.farmer-hunter.com/merumaga</a>	
	サーキュラーエコノミー： これまで行政やNPOが担ってきた獣害対策を農家が主体となりビジネスの力で解決するという画期的な取り組み。ジビエ等での売り上げが獣害対策の原資となっており、さらに革や脂等を使った商品作りで障害者雇用や就労視線施設とのコラボが生まれている。 <a href="https://item.rakuten.co.jp/hunter/soap/">https://item.rakuten.co.jp/hunter/soap/</a>	
	URL	農家ハンター公式HP <a href="https://farmer-hunter.com/">https://farmer-hunter.com/</a>
上記ソリューションを提供できる地域について	全国	

自者の特徴

- 地域の担い手となる若手農家による「地域と畑を守る」主体的な活動であり全国から注目され、テレビ番組の中でもSDGsの活動として紹介されている事

憶れてた番組、でも実際は心中えぐられまくって正直キツかった。100時間の中からの30分。一体どんなふうを描かれるんだろう。

イノシシや地域との最前線を一ヶ月密着していただきました。まさかカメラの前で涙を流すとは・・・放送がとても楽しみ。

宮川将人・稲葉達也  
農家ハンター Vol.1127

情熱大陸  
TBS系列 全国ネット 11.01.2023 11:00~

ハイテク技術を駆使！イノシシ被害に立ち向かう農家たち

「熊本から日本を、農業を元気にしたい」

手弁当でこの活動を続けてきた「くまもと☆農家ハンター」の2人のリーダー稲葉と宮川に密着。稲刈りがはじまり、名産のみかんやデコポンが収穫の時期をむかえる頃、冬支度のために栄養を求めて人里に降りてくるイノシシに立ち向かう。「農家」と「ハンター」を両立できる先進的なモデルとして、国内だけでなく国連からもSDGs事例としても注目されている最先端の取り組みに迫る。

番組概要 (抜粋)

情熱大陸は、1998年4月5日に放送を開始したヒューマン・ドキュメンタリー番組です。日本の各界で活躍するさまざまな分野の第一人者、また、華開くとき間近という方々取材させていただいております。目の前の活動に対し「情熱」を傾ける姿を紹介するのが、核となります。主人公の方が積み上げてきた2つとない「生き方」や「哲学」を浮かびあがらせたいと、取り組んでおります。

決定的瞬間 箱笥の捕獲 撮影の様子 ジビエ料理に 新3Dマップ

自者の特徴

- SDGs11をゴールにした明確なローカルアクションの指針がある事



SDGs 15  
LIFE ON LAND 陸の豊かさを守ろう  
「持続可能な農村社会  
であるために」

獣害から地域を守り  
残していこう

野生動物との境界を作っていく

餌付けSTOP!を住民  
みんなで唱和→実行

ICTの活用で見回りを効率的に

最新技術で生体動向  
個体数の増減など把握

希少な動植物を守っていく

専門家に学び調査しながら  
保護していく

農業がずっと続けられる  
ようにしよう

獣害対策を住民主体で  
継続する仕組みを作る

消防団のような地域を守る  
活動という理念で広げていく

野生動物による農産物  
被害を軽減させる

農家による防護、捕獲モデル  
を熊本で確立させ広げていく

捕獲から販売まで循環型  
農業の仕組みを作る

ジビエの販売と堆肥化を  
成功させる



地域の担い手を  
育成していこう

地に根付く若手農家に学び  
と交流の機会を作る

定期的な講習会や  
交流会の開催

地域のコミュニティーを  
活性化する仕組み作り

イノ☆コミで老若男女  
みんなと仲良くなる

農地や技術を継承する  
仕組み作り

獣害対策を通して地域から  
必要とされる人間になろう



## 自者の特徴

- 国連のSDGsのサイトで世界の約500の優良事例の一つとして紹介されている事



### SDGのためのパートナーシップ

自主的なコミットメントおよび複数の関係者間のパートナーシップのグローバルな登録

ホーム 約 コミットメントとパートナーシップを閲覧する 登録 アップデートを共有する アクションネットワーク

---

**サンパウロ（ブラジル）の階段を変える階段を気にする。より包括的で、安全で、回復力があり、持続可能な都市を実現するための公共空間の認識と変容** 持続可能な開発目標



Mind the Stepは、Cidade Ativaによる賞を受賞したイニシアチブであり、公共の階段の役割（通常は放棄された、劣化した、安全でない）について認識を高め、身体的介入を通じてその使用に挑戦します。このプロジェクトは、共同介入が階段の変革にもたらす可能性を明らかにし、これらの場所を歩行者用モビリティネットワークに再統合し、人々が集まる公共の場として、レジャーやレクリエーションに利用できるようにする機会を模索しています。このイニシアチブは、ブラジルのサンパウロで2014~15年に実施されたパイロットプロジェクトに基づいて構築されました... [more]

**パートナー**

2014年以来、Mind the Stepは多数の利害関係者（近隣コミュニティ、学校コミュニティ）を巻き込み、建築およびデザインの専門家や地元の芸術家とのパートナーシップを組んできました。国際機関（IVM、HealthBridge、UN-Habitat）、民間企業（Brookfield Inc.、Akzo Nobel、GEDI）、そして地方自治体当局から非常に大きな支援を受けました。Cidade Ativaのお茶は... [more]

---

**くまもとファーマーハンターズ・南西日本の生物多様性と地域社会を救うための地元の農民の行動。** 持続可能な開発目標



熊本県の100人を超える農民が集まるコミュニティ「くまもとファーマーハンターズ」が、マルチステークホルダーとのパートナーシップにより、農場を野生の穴から守る取り組みを始めました。日本の他のケースとは異なり、これはビジネススペースのソリューションです。ほとんどの場合、捕獲された穴は埋められ、地元の公共団体はそのために費用を支払う必要があります。しかし、彼らは電子商取引プラットフォームを介して肉を販売することによって自分自身で資源を動員します。

**パートナー**

100人以上の農民からなる「熊本ファーマーハンターズ」のメンバーがこのイニシアチブの主役です。また、地方公共団体、学界、またはビジョンを共有しているアドテック企業などの民間部門などの他の利害関係者もこのプロジェクトを支援しています。このプログラムの主な受益者は、地域社会、特に農家です。農民のほとんどは高齢者です。農地や農地を守る... [more]

---

**SDG 16.5に関連したボゴタの透明性、誠実性、汚職に対する寛容の禁止に関する公の方針すべての形態において汚職および贈収賄を大幅に削減する。** 持続可能な開発目標



SDGs経営に向けた自  
者の課題や悩み

- 取り組みを日本中に広げていくための人的リソースと資金の不足。
- 企業等との連携が思うようにいかない。  
（社食でジビエを食べてSDGs活動を後押ししてもらうなど）
- 一般人ではSDGsの知名度がまだ低く、企業が取り組むメリットを感じるどころまで来ていないのも理由と感じる。